



田原本ふるさとかるた

かるたDe学ぶ

田原本ふるさとかるたは、町にある有名な遺跡や伝統ある神社、寺などの名所、さらに伝統行事などを題材に作られています。かるたで、郷土を学びましょう。



ちのわくぐり
茅の輪くぐり

説明文

くらどう むらやじんじや まいとし
蔵堂にある村屋神社で毎年6月30日に行われる「夏越の大祓」は、はんとしかん つみ なごし おおほらい
半年間の罪やけがれを祓い、これまでの無事を感謝し、これからの半年間も無事に過ごせるようにと願う行事です。直径約2メートルの茅の輪をくぐった後、白紙のひとがた うつ
人形に罪やけがれを移し、これらをはせがわ なが
を初瀬川に流します。

村屋神社
夏のお祓い
茅の輪くぐり



つしまじんじや
津島神社

説明文

つしまじんじや ぎおんまち
津島神社は祇園町にあって、「ぎおんさん」の名で親しまれているように、かつてはぎおんじやと呼ばれ、へいあんじだいこうき えきびょうぼうじよ
平安時代後期には疫病防除のきがん おこな
祈願が行われていました。明治2年(1869年)、たわらもとはんしゆ
田原本藩主ひらのけ あと
平野家にゆかりのある尾張国津島にちなんで津島神社と改めまし
た。江戶時代から続く祇園祭は『中和地方最大の夏祭り』といわ
れるほどの賑わいを見せていまし
た。現在は毎年7月20日前後に
もよお
催されています。

祇園祭
にぎわいみせる
津島神社



じんらくじ
秦楽寺

説明文

じんらくじ はたのしやう
秦楽寺は秦庄にあって、647年に秦河勝が建てたといわれています。秦河勝は聖徳太子の側近でした。お寺の中には、弘法大師がつくったといわれる「あ(梵字)」のかたち いけ
の形をした池があります。また秦楽寺には七不思議があるといわれています。

「あ」の字の
阿字池
秦楽寺



ふがんじ
補嚴寺

説明文

ふがんじ あじま
補嚴寺は味間にあつて、南北朝時代に大和で初めて建立(1384年)された禅宗の寺院です。能楽の基盤を築いた世阿弥は、ここで禅宗の教えを受けています。そのため、世阿弥の能の世界には、ぜん えいきやう つよ
禅の影響が強いといわれています。

世阿弥ゆかりの
能楽の
補嚴寺

人の動き 平成25年5月1日現在

人口	32,894人	(前月比)	+22人
男	15,758人	(前月比)	+30人
女	17,136人	(前月比)	-8人
世帯数	12,217世帯	(前月比)	+52世帯

資料:住民基本台帳(外国人人口・世帯を含む)

今月の表紙 5月5日、矢部で五穀豊穰と邪霊から村を守ることを祈願する綱かけが行われました。子どもたちは綱を担ぎ、笑顔で村中を練り歩きました。

編集後記

■一眼レフカメラで撮影に行かせてもらいました。最初は慣れない撮影に戸惑っていましたが、「どんな写真を撮りたいか考えてから取材に行くといい」とアドバイスをもらい、少し気持ちが和らぎ、撮影できました。これからもどんな写真を撮りたいか考えてから撮影に臨み、頑張っていきます。 博

■矢部の綱かけの取材へと行ってきました。綱かけという行事があるのは知っていましたが、実際に目にするのは今回が初めてでした。伊勢音頭に合わせて村内を元気よく練り歩き、巻く人も巻かれる人も笑顔だったのが印象的でした。地域の人たちが一つになって行事を行う姿に、心が温かくなりました。 昂